

分野にとらわれず未来を拡張するイノベーターを選出する 「WIRED Innovation Award 2025」の授賞式を開催

積水ハウス株式会社（以下、積水ハウス）は、未来を実装するメディア『WIRED』日本版とともに、「WIRED Innovation Award（イノベーションアワード）2025」の授賞式を渋谷ストリームホールにて12月1日に開催しました。



「WIRED Innovation Award 2025」PHOTOGRAPHS BY SAEKA SHIMADA © 2025 Condé Nast Japan. All rights reserved.

「WIRED Innovation Award」は、科学技術、アート、エンターテインメント、ビジネスなどあらゆる領域から選出したイノベーターを表彰し、イノベーションを通じて新しいシアワセの可能性を発見することを目的としています。今回より積水ハウスが本アワードに協賛することで、「WIRED Innovation Award 2025」の開催が実現しました。当日は、新たなタグライン「この革新は、未来のシアワセのために」をテーマに掲げ、各領域から選出された21組のイノベーターのうち17組が来場し、表彰のほかライブパフォーマンスや関連プロジェクトの展示なども行われました。

浅川純（Pale Blue 共同創業者）

AMI（ブレイクダンサー）

池上高志（人工生命研究者）

今井悠介（公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン代表理事）

大西麻貴+百田有希/o+h（建築家ユニット）

押山清高（アニメーション監督）

落合陽一（メディアアーティスト）

庄司夏子（シェフ/パーティシエ）

鈴木俊貴（動物言語学者）

TOWA TEI（音楽家）

友廣裕一・蜂谷潤（シーベジタブル共同創業者）

中山晃子（画家）

Perfume（テクノポップユニット）

星街すいせい（バーチャルアイドル）

前田瑠介（WOTA 代表取締役兼 CEO）

松田崇弥・松田文登（ヘラルボニー共同代表）

村田沙耶香（小説家）

森永邦彦（ファッショントレーナー）

柳沢正史（睡眠学者）

山田智和（映像作家・映画監督）

横山奈美（画家）

「WIRED Innovation Award」では、社会や技術が大きく変わり、新しい感性が育まれる時代において、未来の人々が考えるシアワセに直結するイノベーションを見出すことが重要であり、イノベーターはそのような新しい時代を切り拓くエネルギーを持った存在であると考えています。積水ハウスは、“「わが家」を世界一幸せな場所にする”というグローバルレビジョンのもと、本アワードの活動を通じ、新しい世代の感性や個性を育み、シアワセを導くイノベーションの創出を支援していきます。

* 「WIRED Innovation Award 2025」特設サイト：<https://wired.jp/article/wired-innovation-award-2025/>

【代表取締役兼 CEO 社長執行役員 仲井嘉浩による当日挨拶（一部抜粋）】



「WIRED Innovation Award 2025」PHOTOGRAPHS BY SAEKA SHIMADA © 2025 Condé Nast Japan. All rights reserved.

受賞者の皆さん、本日はおめでとうございます。アワードのコンセプトは「この革新は、未来のシアワセのために」、積水ハウスのグローバルレビジョンは“「わが家」を世界一幸せな場所にする”です。そこには「シアワセ」という共通するキーワードがあります。この「シアワセ」を実現するために大切なのは「感性」だと私は考えています。本日は、この「感性」の最先端を行かれる方々と、空間を同じくすること私は「シアワセ」に感じています。皆様方が、人々に感動を与える、刺激を与える、気付きを与えるといった「感性」の伝達の活動を広げていくことによって、世の中がもっと「シアワセ」になればいいなと思っています。

*The Big Interview | WIRED Japan & SEKISUI HOUSE：<https://www.youtube.com/watch?v=WIJ608fx2s4>